



小中学校・卒業証書授与式

3月18日に市内の11小学校、また、19日に4中学校で卒業証書授与式が行われ、小学生488人、中学生462人が卒業しました。式では、在校生や保護者など大勢の出席者が見守る中、卒業生が入場し、校長先生から一人一人に卒業証書が手渡されました。また、来賓や在校生などからお祝いや感謝の言葉が送られました。学び舎に別れを告げた卒業生は、学校生活の思い出を胸に、夢や希望に向かって新たな道を歩み始めました。

【写真：倭小学校（左）、高社中学校（右上・右下）】



土人形絵付けコンテスト表彰式

3月23日、中野陣屋・県庁記念館において、「土人形絵付けコンテスト」の表彰式を開催しました。コンテストは、土人形の愛らしさと素朴さを感じてもらうため開催しているもので、昨年10月1日から4カ月間作品を募集したところ、小学校低学年、同高学年、一般の3部門に過去最多の636点のご応募をいただきました。審査の結果、各部門ごとに最優秀賞1点、優秀賞3点、佳作10点が入選し、受賞者に表彰状をお渡ししました。



タケカワユキヒデコンサート

3月23日、市民会館ホールにおいて、「晋平・辰之メモリアル タケカワユキヒデコンサート」を開催しました。コンサートでは、ゴダイゴのヒットナンバーのほか、ビートルズの名曲の数々を熱唱されました。また、このコンサートのために結成された「晋平・辰之メモリアル合唱団」との共演では、「ゴンドラの唄」「故郷」「ビューティフルネーム」「銀河鉄道999」を合唱し、会場はアットホームな雰囲気になりました。



なかのブランドシンポジウム

3月22日、市民会館ホールにおいて、信州なかのシンボルマークおよび登録商標「故郷のふるさと」の活用を推進することを目的に、なかのブランドシンポジウムを開催しました。当日は、池田市長の講演のほか、タレントの三四六^{さんしろう}さんをコーディネーターに迎え「ふるさとから世界への情報発信」と題したパネルディスカッションなどが行われました。パネルディスカッションでは、分野の違う4人の有識者の皆さんから地域資源の活用やブランド力向上の取り組みなどについて、前向きな意見や提案をいただきました。



日野原重明先生「健康講演会」

3月21日、市民会館ホールにおいて、昨年10月に102歳を迎えられた日野原重明先生による「健康講演会」を開催しました。当日は、「健やかな長寿日本一をめざして」と題して講演をいただきました。先生のユーモアを交えたお話に、会場からは笑いが起きていました。先生の講演を聞いた皆さんは、健康の大切さを改めて認識する良い機会となりました。最後は、晋平少年少女合唱団の皆さんが歌声を披露し、講演会に花を添えていただきました。



認定こども園開園

市内では初となる「認定こども園」が開園しました。認定こども園とは、親の就労の有無にかかわらず、小学校就学前の子どもに対する保育および教育、保護者に対する子育て支援などを行う施設です。開園したのは、中野マリア幼稚園・保育園で、今後の乳幼児保育・教育の充実が期待されます。3月27日に行われた中野マリア保育園のしゅん工式では、大勢の来賓・関係者が出席し、子育て支援の拠点となる施設の完成を祝いました。